

多くの貧しい人たちが集まって、生活しています。そして、その子供たちは、勉強もしているんだよ。」

岩子の眼は、生き生きと輝き、その『救養会所』の仕事を、いろいろと聞きだしました。

そして、会津地方の多くの貧しい人を救うために、救養会所の仕事を実際に見てきたいと思い、若松県庁けんちょうに行つて願い出ました。

「わたしは、今の会津を見るとき、村ではうち続く凶作きようさくに疲れきつた農民やこじきがあふれていて、物価高や重い税金に苦しむ人の多いこと知りました。わたしは、この貧しく苦しんでいる人たちを救わねばなりません。そのために、東京の深川ふかがわにある救養会所に行つて、そのしくみや教育の方法を学んできたいのです。ぜひ行かせてください。」

岩子は、会津地方の多くの農民や町民の苦しい生活のようすと自分の気持ち